



特集  
世界への扉を開く ～国際理解教育～

## 野鳥の声に導かれて

身近に住んでいる野鳥を観察するバードウォッチングが、山里交流館「やまさあーべ」で初めて開催され、町内外から多数の方が参加しました。双眼鏡を手に山に登ってみると、あちこちの木々から野鳥の鳴き声が。参加者はその声を頼りに野鳥の姿を追い、町の自然の豊かさを実感していました。

平成27年

12

No.658



ラフティング体験の様子



期待と不安を胸に  
海の向こうへ

昨年、本町で初めて実施された中学生海外派遣事業に大江中学校から11名の生徒たちが参加し、広大な太平洋を飛び越えた遥か彼方、アメリカ合衆国モンタナ州ミズーラ市を訪れました。国際線の空の旅、入国手続き、そして言葉の通じない国でのコミュニケーション。何もかもが初めての体験の中で、生徒たちはそれぞれ新しい発見とかけがえのない思

い出を得て、この町へと帰ってききました。

そして今年も、3年生4名、2年生7名、1年生1名の合計12名の生徒たちが海外派遣事業に参加することになりました。生まれて初めての外国での研修に参加しようと決心した生徒たち。「アメリカの生活や文化を学びたい」「自分の今の英語の力を試してみたい」「私たちの文化の良いところを、海外の人にも知ってほしい」「コミュニケーション力を身につけ、日本での日常生活に生

肌で感じた  
遠くても近い世界

かしたい」「知らないことをたくさん知って、思い出に残るような研修にしたい」……5月11日におこなわれた開講式では、緊張しながらもそれぞれの意気込みを自分なりの言葉で紡ぎ出そうとする生徒たちの姿がありました。

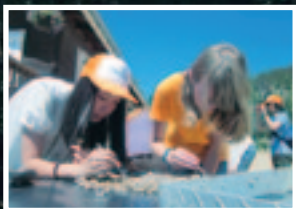
言葉も、気候も、慣習も異なる国で、生徒たちが実際にその目と耳で体感した世界は、どのようなものだったのでしょうか。

5回にわたる事前研修を終え、いよいよ迎えた7月28日。成田空港から9時間30分という長いながい空の旅を経て、中学生海外派遣の一行はオレゴン州にあるポートランド国際空港に降り立ちました。生徒たちが不安に思っていた入国審査も問題なくクリアし、今度は国内線の航空機に乗って、目的地であるモンタナ州ミズーラ市へとたどり着きました。

ミズーラ市は本町よりも高緯度で標高も高く、夏でも乾燥した気候が特徴です。生徒たちが現地を目にしたのは、強い日差しに照らされた、緑の少ない山々が広がる光景でした。しかし生徒たちは、周囲を山に囲ま

# 扉を開く

～ 国際理解教育 ～



▲ペアで協力して宝石探し



▲バーベキューの準備



▲モンタナ大学構内

日本とは違う  
でもどこか似ている風景



▲ポーナー校の生徒との交流

一度きりのチャンス  
思い切って話しかけた



▲お世話になった人たちに合唱を披露

ハーモニーで伝える  
美しいふるさとの景色



# 世界への

Boys and Girls, Be Ambitious!

れたその風景に大江町との共通点を見出したようです。「もつと大きく違ふ」と思つて日本を出発したが、似ていたので少し安心している自分がいた」と、生徒の一人は話します。初めて見た外国は、想像していたようになまかつたの別天地とは違ふ、自分の五感で触れてみなければわからない世界でした。

とはいえ、通貨や食事など日本とは明らかに異なることの多い土地での滞在は、戸惑いも少なからずあつたようです。買い物をする際も、事前に練習していたお金のやりとりとは勝手が違つていました。それでも、お店の人が金額を教えてくれるなど、現地の人々の温かい心遣いに接して「緊張していた自分が恥ずかしくなつた」というくらいに、自然にコミュニケーションをとることができるようになつていきました。

古いアメリカンスタイルのレストランや、さまざまな国の音楽が流れる朝市など、一口にアメリカといつてもそこには多彩な文化がありました。生徒たちもまた、現地の人々に大江町の良さを話したり、合唱を披露したりするなど、異文化を学ぶとともに自分たちが伝えたいことを伝えることができました。

## 言葉は違っても 心は伝わる

今回の海外派遣事業の特色は、モンタナ州にあるポーナー校（※）の生徒たちとの交流活動が新たに組み込まれたことです。同行した大人のスタッフの通訳を介さず、生徒たちだけでアメリカの生徒と交流するという試みは、昨年の海外派遣事業にはないことでした。

話す言葉は違っても、そこは同じ年頃の生徒たち。初対面のときこそ緊張していましたが、ジェスチャーを交えながらの会話を重ねるうちに徐々に打ち解けていきました。お互いの町のことを語り合ったり、ペアを組んで宝石探しに挑戦したりして、2日間の交流が終わるころにはすっかり仲良しに。大江中学校とポーナー校の生徒たちの国籍を越えた交流は、大成功となりました。

アメリカでの5泊6日の滞在で多くの生徒たちが感じたのは、授業で学ぶ英語と、外国人との生の会話との違いです。たくさんさんの現地の人々との出会いの中で、教科書の例文のように整った文章を話せなくても、知っている英単語を並べたり身振り手振りで表したりすることで、言い



違う文化に肌で触れて  
自分の視野が大きく広がった

たいことを相手に伝えられるという経験をしました。普段の授業や事前研修で日常的な英単語や言い回しを学習したことが、外国で会話をするうえでの下地となったのはもちろんですが、お互いの意志や気持ちを伝え合うことさえできれば、言葉の壁は想像よりも簡単に乗り越えられるということを実感したようです。

海外派遣事業の締めくくりである閉講式で、生徒たちは開講式の時は見違えるほどはつきりとした口調で自分の心境を語っていました。

「ジェスチャーなどで言いたいことを伝えられた」「英語をうまく話せなくても、自分からあいさつをしたら次は相手の方からあいさつしてくれた」「他の人と話すことが苦手だったけれど、自分から話すことができるようになった」

6日間の海外研修の最大の収穫は、言葉の往復だけではないコミュニケーションの素晴らしさを実感できたこと。そして、それを通じて「主張できる自分自身」を発見したこともなのかもしれません。



ポーナー校の生徒とダンスレッスン

※ポーナー校…ミズラ市近郊にある学校。日本の小学校高学年から中学校2年生にあたる子どもたちが在学している。

## 6カ月間の旅のキセキ

How did you come across the unknown world?

中学生海外派遣事業  
事前研修から  
報告会までの流れ



▲ 6/8 事前研修第3回  
お金について



▲ 6/1 事前研修第2回  
健康管理について



▲ 5/18 事前研修第1回  
荷造りと入国審査



▲ 7/4～7/5 事前研修第4回  
山里交流館での宿泊研修



▲ 7/13 事前研修第5回  
コミュニケーションと食事



▲ 8/10・8/31・9/16と3回に  
わたる事後研修



▲ 10/31 町の文化祭に合わせて開  
かれた報告会。海外の地での貴重  
な体験を、一生懸命伝えました

本町の中学生海外派遣事業では、派遣される生徒たちがアメリカへ出発する前に入念な事前研修を実施しています。その大きな目的は、最も重要な手続きである入国審査や、病気になる場合の医療機関の受診など、大切な場面での対処方法を学び模擬体験をおこなうことで、現地での行程をスムーズにすることです。それに加えて、今年度の事前研修ではコミュニケーション力について考え、高める時間を新たに設けました。昨年度の海外派遣で実際にあつ

た場面をスタッフが再現し、その対応の仕方を生徒たちが自分で考えて話し合うことで、現地に行ったときにどのようにコミュニケーションをとれば良いかをより具体的にイメージして臨むことができました。また、今年度は新たに山里交流館での宿泊研修を取り入れました。1泊2日の共同生活の中で、グループで協力して食事をつくったり、キャンプファイヤーを囲んで渡米を前にしたそれぞれの思いを語り合ったりして、生徒たちとスタッフのチーム

としての結束を高めることができました。海外派遣を終えて帰国した後は、事後研修がおこなわれました。アメリカでの体験を通して感じたこと、学んだことを総括し、報告会で保護者の方や町民の皆さんに発表する準備をするための研修です。話し合いの結果、たくさんの伝えたいことの中から「自然・風景」「食事」「コミュニケーション」の3つのグループに分かれて内容をまとめ、発表をおこないました。

# 外国語指導助手(ALT)奮闘記

Assistant language teacher Dennis works so hard!

平成26年4月、本町の外国語指導助手(ALT)としてデニス・ピーターソン先生が着任し、現在大江中学校の全学年と、左沢小学校・本郷東小学校の5・6年生に英語を教えています。デニス先生は大江中学校に常勤し、お昼も生徒たちと一緒に給食を食べるなど、今まで以上に生徒たちにとって身近な存在となっています。

中学生海外派遣事業や英語弁論大会に参加する生徒の講師も務めるなど、町の国際理解教育において欠かせない存在となっているデニス先生に、お話を伺いました。



デニス・ピーターソン先生  
Dennis Edward Peterson

アメリカ合衆国の東海岸部、ニュージャージー州で生まれ育つ。平成25年7月、奥さんと2人の子どもたちと一緒に寒河江市へ移住。昨年度から大江町の外国語指導助手(ALT)として小中学校での英語指導にあたっている。ALTとしての仕事のほかにも、「カフェ・デニス」などの活動や各種イベントへの参加を通じて、町民の皆さんとの交流を積極的におこなっている。趣味はアイスホッケーと、ギターを弾くこと。

——大江町に初めて来たとき、どのように感じましたか？

デニス先生 きれいな山々や最上橋などがあり、とても景観が美しい場所だと思いました。この町の人々はみんなとても親切で、心が温かいですね。

——小中学校の子どもたちとは仲良くなれましたか？

デニス先生 着任したばかりのころ、子どもたちは外国人である私を怖がっていました。私も日本語の発音が分からないので、みんなの名前を覚えるのに苦労しましたね。頑張っ

て名前を覚えて少しずつ仲良くなり、今では学校以外で会ったときも、子どもたちの方から声をかけてくれるようになりました。みんなとても元

気で良い子たちです。

——英語の授業をしていて、楽しいと感じるのはどんな時ですか？

デニス先生 子どもたちが英語に対して興味を持ってくれていると感じたときですね。教科書を読んだり発音の練習をしたりするだけではなく、英語を交えたゲームをするなど、みんなが楽しく学べるような工夫をしています。

——中学生海外派遣事業について、どう思いますか？

デニス先生 生徒たちが海外に行く機会はめったにないでしょうから、とても良い経験になると思います。外国の文化を本当の意味で理解するためには、その国に対しての固定観念を捨てなければなりません。自分の足で外国に行つて、その土地の文化に直接触れることで、初めて異文化を理解できるのだと思います。

——将来の目標は何でしょうか？

デニス先生 私が海を越えてこの町にやって来て、現在子どもたちに英語や外国の文化を教えているのは、とても特別なことだと考えています。外国のことに興味を持つようになつて視野が広がれば、その子の将来は違ったものになるかもしれません。私にとって本当の授業の場所は、教



▲大江中学校1年生の英語の授業風景。マンガのキャラクターを題材にして、楽しく英語を学んでいます



▲大人を対象とした英語交流教室「カフェ・デニス」

室の外にあります。あいさつや会話をし、一緒にいろいろな活動をするので学べるのがたくさんあります。私の仕事が生徒たちにとって良い影響を与え、町の将来の助けになればうれしいです。

## 放課後は国境を越えて

Let's go on a trip over seas in the after school!



▲ホワンさんに中国語で質問する生徒たち

今年度最初のグローバル・アフタースクールが、11月30日に開かれました。講師は、台湾から日本へ来た留学生のホワン・チェンチェンさんと、昨年日本から台湾へ留学した高校生の馬場祐希さんです。

ホワンさんは、台湾の文化や中国語の発音の仕方などを紹介。馬場さんは、台湾に留学したときの体験を生徒たちに語りました。「語学を身につけるだけでなく、たくさんの外国の人と交流して友達になることも、すべて含めて留学なんです」と話す馬場さん。海外留学の魅力を生徒たちに伝えていました。



▲ホワン・チェンチェンさん



▲馬場祐希さん

昨年度から新たに始まった「グローバル・アフタースクール」は、大江中学校の1・2年生を対象とした講座です。さまざまな国の方々の放課後の学校に招いて、異なる文化的背景をもつ人同士がどのようなコミュニケーションを図り、お互いを高め合っていくことができるか、講師と一緒に活動しながら学んでいくものとなっています。昨年度は8回にわたって講座が開かれ、シンガポール、イタリア、アメリカ、イギリス、ネパールの方々が、それぞれの母国の文化を紹介しました。

グローバル・アフタースクールに参加して外国の文化に興味を持ったことがきっかけとなり、今年の中学生海外派遣事業への参加を思い立った生徒もいました。同様の事業をおこなっている市町村は県内でも例がなく、本町独自の国際理解教育となっています。

*The door is always open.  
Take a step forward!*



「マウントM」の中腹にて

### その一歩が

### 「世界」へつながる

国際化が進む現代の社会。今の子どもたちが社会人となるころには、外国人と接し、交流する機会はずっと増えていくでしょう。外国語や海外の文化について学ぶことは、国際社会の中で生きていくうえで必ず役立つしていくものと考えられます。

しかし、本町の国際理解教育の目的は、それだけにとどまりません。外国の文化の学習は、仲間や地域、自然など、あらゆるものと共に生き

ていくための「共生教育」のひとつであるといえます。

海外派遣事業に参加した中学生たちは、国境を越えたコミュニケーションの可能性を体験しました。現地の人々からその土地の文化について聞くだけではなく、自分の生まれ育った町や思いについて話すことで、自らの生きてきた背景を再認識することができました。

同じ国内に暮らしていても、人々はそれぞれ方言、風習など異なった文化的背景を持っています。そうした人々同士がお互いの違いを受け入れ、そのうえで自らを主張することが「共に生きる」ということにほかなりません。コミュニケーションは相互の意思疎通だけではなく、他者とのかわりの中で視野を広げ、自己の新しい可能性を発見し、さらにそれを発展させていく力をもたらしてくれます。

現在、多くの外国人が日本を訪れており、また日本人が海外へ渡航する機会も増加しています。子どもたちにとって「世界」は、一歩踏み出せばすぐそこにある時代です。国際理解教育を通して、たくさんの子どもたちが新しい世界と自分を発見してくれることが期待されます。

# 町職員の給与等の状況をお知らせします

平成27年4月1日現在の町職員の給与等に関する状況について、町民の皆さんに広く理解していただくため、その内容をお知らせします。

## 1 職員の任免および職員数に関する状況

### (1) 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在) (単位：人)

部門	職員数		増減	主な増減理由	
	27年度	26年度			
一般行政部門	議会	1	1	0	
	総務	26	26	0	
	税務	7	7	0	
	民生	16	17	▲1	事務処理体制の見直し
	衛生	6	6	0	
	農林水産	13	12	1	派遣職員に係る異動
	商工	4	3	1	事務処理体制の見直し
	土木	10	11	▲1	事務処理体制の見直し
小計	83	83	0		
教育	21	21	0		
会計部門等	水道	2	2	0	
	下水道	3	3	0	
	その他	9	10	▲1	広域連合派遣の終了
	小計	14	15	▲1	
合計	118	119	▲1		

※職員数には、町長、副町長、教育長、及び再任用職員は含まれておりません。

## 2 職員の給与の状況

### (1) 人件費の状況 (平成26年度普通会計決算) (単位：千円)

住民基本台帳人口(H27.1.1)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	平成25年度人件費率
8,836人	5,318,458	204,989	869,195	16.3%	18.3%

※人件費には常勤・非常勤特別職に支給される給料、報酬を含みます。

### (2) 職員給与費の状況 (平成27年度普通会計予算) (単位：千円)

職員数(A)	給与費				1人あたり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
108人	396,205	50,147	140,113	586,465	5,430

- ※1. 町長、副町長、教育長分を含みます。  
 2. 55歳を超える職員(行政職給料表6級)については、給料月額等を1.5%減額しています。  
 3. 職員手当には退職手当は含まれておりません。  
 4. 給与費は当初予算に計上された額です。

### (5) 職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況 (単位：円)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
町	296,100	331,700	39.7	304,500	327,100	47.9
国	334,283	408,996	43.5	289,141	328,318	50.2

- ※1. 給与は、給料および諸手当を含みます。  
 2. 平均年齢の整数は歳、小数はヶ月です。【例】43.5は43歳5ヶ月の意

### (7) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (単位：円)

区分	学歴	経験年数15-19年	経験年数20-24年	経験年数25-29年
		一般行政職	大学卒	301,400
	高校卒	270,300	321,800	355,900
技能労務職	高校卒	-	271,100	299,300

### (2) 退職者数の状況 (単位：人)

区分	26年度			25年度		
	定年	その他	計	定年	その他	計
人数	2	2	4	3	4	7

※その他には自己都合等による退職を含みます。

### (3) 職員採用の状況 (単位：人)

区分	26年度	25年度
行政職	3	2

※行政職は上級及び再任用職員です。



### (3) 職員の初任給の状況 (単位：円)

区分	町	国	
一般行政職	大学卒	178,400	174,200
	高校卒	145,500	142,100
技能労務職	高校卒	139,500	139,500

### (4) ラスパイレス指数の状況

区分	26年度	25年度	24年度	23年度
町	93.6	102.6	102.8	95.0
県	100.6	108.8	108.7	100.0

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。大江町は、県内35市町村中、34番目となっています。

### (6) 時間外勤務手当 (普通会計) (単位：千円)

区分	26年度	25年度
支給実績	15,633	18,404
1人あたり平均支給年額	155	170

### (8) 期末手当・勤勉手当

区分	町			国		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
支給割合	2.70月分	1.25月分	3.95月分	2.60月分	1.50月分	4.10月分
加算措置	役職加算5~15%			役職加算5~20% 管理職加算10~25%		



(9) 退職手当

区分	自己都合	勲奨・定年	
支給率	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
	最高限度	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置		定年前早期退職者に対する特例措置(2~45%加算)	

(11) 特別職の給料(報酬)などの状況

区分	給料など月額	期末手当	退職手当
給料	町長 738,000円 (820,000円)	減額前の給料(報酬)月額に40%を加算し、それに月数を乗じた額 (6月期) 1.375月分 (12月期) 1.625月分	給料月額×勤続月数×56.7/100
	副町長 608,000円 (640,000円)		給料月額×勤続月数×33.1/100
	教育長 557,750円 (575,000円)		給料月額×勤続月数×23.6/100
報酬	議長 320,000円	なし	
	副議長 270,000円		
	議員 255,000円		

- ※1. 給料欄の( )内は、減額前の給料です。
- ※2. 退職手当支給時期は、退職時(任期満了を含む)に支給。

4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時~午後1時

- ※1. 税務町民課において、月曜日は窓口業務を午後6時30分まで延長しています。
- ※2. 平成22年4月1日より休憩時間を廃止し、1日の勤務時間を8時間から7時間45分に短縮しています。

(2) 主な休暇制度

区分	期間	
年次有給休暇	1年につき20日付与(未取得日数分は、20日を上限に翌年へ繰越可能)	
病気休暇	90日以内(疾病の内容により、取得可能期間は異なります)	
特別休暇	結婚	7日以内
	女性職員の出産	産前8週間(多胎妊娠の場合は14週間) 産後8週間(産前分を加え10週間まで取得可能)
	生後1歳に達しない子の育児	1日に2回それぞれ30分以内の時間
	忌引き	配偶者10日、父母7日等、続柄に応じ連続する1日から10日以内

5 職員の分限および懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数(H26年度)

(単位:人)

区分	降任	休職	免職
処分者数	0	0	0

(2) 懲戒処分者数(H26年度)

(単位:人)

区分	戒告	減給	停職	免職
処分者数	0	0	0	0

6 職員のサービスの状況

(1) 職務専念義務の免除

職員は、地方公務員法の規定により、法律または条例に特別な定めがある場合を除き勤務時間中は職務に専念する義務があります。職務専念義務が免除される例としては、“研修を受ける場合”“学校等から委嘱を受けて、講演又は講義を行う場合”等があります。

(2) 営利企業等への従事許可

職員は、地方公務員法の規定により、任命権者の許可を受けなければ、営利企業の役員を兼ねることや自ら営利企業を営むこと、報酬を得て事業や事務に従事することはできません。

(3) 休業等制度

職員の休業制度には、育児休業、部分休業、自己啓発休業(大学等課程の履修または国際貢献活動を行う場合の休業)等があります。

(10) 行政職の級別職員数の状況

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	課長	9人	8.6%
5級	主幹/補佐	8人	7.7%
4級	主査	19人	18.3%
3級	係長	25人	24.0%
2級	主任	16人	15.4%
1級	主事	27人	26.0%
合計		104人	100.0%

- ※1. 職員数には町長、副町長、教育長及び技能労務職、再任用職員は含まれておりません。
- ※2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的なものです。

3 職員研修の状況(平成26年度)

主催および研修内容	回数	受講者数
【村山地域市町職員研修】 新規採用、初級、JST	4回	7人
【市町村職員研修協議会】 法制、上級、課長研修など	21回	30人
【市町村アカデミー】 子育て支援対策 他	2回	2人

7 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 保健事業

事業名	概要	実施主体
共済総合健診	基本健診(全員)、胃がん、大腸がん、肺がん検診(40歳以上)	町・共済組合
婦人科検診	子宮がん検診、乳がん検診	共済組合
ドック等	節目年齢・退職前ドック助成、脳ドック助成	互助会

(2) 公務災害の状況(平成26年度)

	認定件数		
	負傷	疾病	計
公務災害	2	0	2
通勤災害	0	0	0
計	2	0	2

平成27年度  
第46回

# 大江町文化祭

町民の皆さんの芸術や文化に関する活動の成果を展示・発表する大江町文化祭が、10月30日から11月1日にかけて開催されました。今年度で46回目となる文化の祭典。展示の部には30団体からの出展のほか個人参加もあり、体育センターにそれぞれの力作が展示されました。

11月1日に東地区公民館でおこなわれたステージの部には、14団体が参加。伝統芸能から合唱、ダンスまで幅広い分野のパフォーマンスが披露され、会場は盛大な拍手に包まれました。



## 展示の部 出展作品

盆栽、掛軸、写真、書道、つる細工、絵画、図画、工作、生け花、魚拓、和紙人形、短冊色紙、版画、木目込、陶芸作品ほか

## ステージの部 出演団体

左沢小学校プラスバンドクラブ、大江幼稚園、O・STEP太極拳、キッズダンス「SMILE」、観世流能楽松本会、おおえ昔語りの会、藤間流藤好会、大江ふれあい剣詩舞会・左沢吟友会、大江女声コーラス、大江剣聖会、混声合唱団ECHO、おおえ舟唄太鼓の会、最上川舟唄保存会、大江歌謡会

## お茶会

11月1日、東地区公民館和室で小野社中によるお茶会が開かれました。参加者は風味豊かな抹茶やお菓子を味わいながら、風雅なひとときを過ごしました。

## 協賛事業

10月31日に歴史民俗資料館で催された「伝統食のつどい」では、青芋の葉を使った「なんばもち」や「雑煮もち」が振る舞われ、ふるさとの食文化を多くの人が味わいました。

## お茶会



協賛事業 伝統食のつどい 青芋もち御膳



ステージの部

華麗に舞い歌う

晴れの舞台



展示の部



町では、皆さんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。今回は、平成27年度上半期（平成27年4月1日から9月30日まで）についてお知らせします。

# まちの 財政 状況

## ◆一般会計の予算額

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
5,331,000	22,900	334,271	5,688,171

※補正予算の主なもの、土木施設災害復旧事業や地域密着型施設整備事業などです。  
※前年度繰越額の主なもの、土木施設災害復旧事業や道路改良事業などです。

## ◆歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入済額	割 合
町 税	745,644	415,575	55.7
使用料及び手数料	72,668	33,825	46.5
繰入金、諸収入ほか	550,007	484,289	88.1
地方譲与税	55,200	17,809	32.3
地方消費税交付金	82,000	88,190	107.5
各種交付金	14,001	8,442	60.3
地方交付税	2,115,000	1,562,669	73.9
国・県支出金	1,082,251	185,710	17.2
町債（借入金）	971,400	0	0.0
合 計	5,688,171	2,796,509	49.2

※歳入内訳の中で、町税の調定額（納めていただくべき額）に対する割合は、51.8%です。

## ◆歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	支出済額	割 合
議 会 費	96,366	50,996	52.9
総 務 費	677,646	281,605	41.6
民 生 費	1,154,515	365,204	31.6
衛 生 費	246,558	96,762	39.2
農林水産業費	417,534	87,612	21.0
商 工 費	104,156	53,845	51.7
土 木 費	815,248	253,360	31.1
消 防 費	177,181	85,904	48.5
教 育 費	1,236,975	490,222	39.6
公 債 費	464,778	232,335	50.0
そ の 他	297,214	88,249	29.7
合 計	5,688,171	2,086,094	36.7

## ◆特別会計

(単位：千円、%)

会 計 名	予算現額	収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	1,014,600	422,570	41.6	387,992	38.2
後期高齢者医療特別会計	95,200	34,660	36.4	27,902	29.3
介護保険特別会計	1,114,100	440,417	39.5	399,687	35.9
宅地造成事業特別会計	157,600	45,243	28.7	44,070	28.0
簡易水道事業特別会計	95,400	8,300	8.7	3,670	3.8
公共下水道事業特別会計	304,600	115,063	37.8	107,601	35.3
農業集落排水事業特別会計	43,000	24,210	56.3	18,071	42.0

## ◆町の財産状況

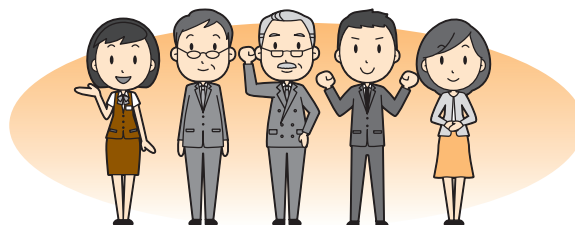
土 地	1,455,341㎡
建 物(延床面積)	56,768㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	206,113 m
車 輛	81 台
有価証券など	7,131 万円
積立金(基金)	21 億 1,569 万円
温泉権(4件)	3 億 4,693 万円

※すべての会計の合計。車輛には、除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれています。

## ◆水道事業会計

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入(支出)済額	割合
収益的収入	262,700	118,299	45.0
資本的収入	106,000	0	0.0
収益的支出	262,700	64,116	24.4
資本的支出	167,056	35,735	21.4



## ◆町債(借入金)の状況

(単位：千円)

会 計 名	平成26年度末 残高	平成27年度 借入額(見込)	平成27年度 元金返済額(見込)	平成27年度末 残高(見込)
一 般 会 計	4,653,298	956,600	406,986	5,202,912
簡易水道事業特別会計	1,874	42,000	1,874	42,000
公共下水道事業特別会計	2,228,949	47,400	126,574	2,149,775
農業集落排水事業特別会計	276,524		16,036	260,488
水 道 事 業 会 計	721,780	72,100	31,643	762,237
合 計	7,882,425	1,118,100	583,113	8,417,412



## ■秋の味覚と温泉で心の復興支援 ～宮城県亶理町被災者招待事業～

東日本大震災で被災した方々に本町の魅力を楽しんでいただこうと、11月15日に宮城県亶理町の被災者を招待する事業がおこなわれました。今回本町を訪れたのは、仮設住宅や災害公営住宅に居住している被災者の方々と、亶理町の職員合わせて72名です。

亶理町の皆さんは、同日に開催された「おおえの物産味覚まつり」を楽しんだあと、町内各地を観光。柳川温泉で地元の方々の大黒舞を鑑賞し、手打ちそばを味わいました。被災者の方は「コシがあっておいしいです」と、新そばを堪能した様子でした。

## ■みんなで考える文化的景観の案内看板 ～左沢高校文化的景観ワークショップ～

本町の文化的景観の魅力を高めるための案内やサインのデザインを検討するワークショップが、10月7日から11月11日にかけて3回にわたり、左沢高校で実施されました。このワークショップは東北芸術工科大学の志村直愛教授を講師に迎え、同大学の学生の協力のもと左沢高校1年生の学習の一環としておこなわれたものです。

検討するデザインは、駅前と商店街に設置する看板と、建物を案内するサインの3種類で、95名の生徒たちがそれぞれのグループに分かれて意見を交換。どのような人が何の目的で見るのか、どのような情報が必要なのかといったことを考えながら、さまざまなアイデアを出し合いました。

11月11日に開かれた発表会には一般の町民の方も参加し、生徒たちはグループごとに考えたデザインを発表しました。外国語の表記や写真、地図を取り入れて分かりやすくしたり、町の特産品をもとにしたキャラクターを登場させたりとさまざまな工夫がみられ、中には高校生ならではの個性的なデザインも。参加した町民の方からは「高校生の皆さんが町のことを良く調べてくれて、感激しました」といった感想が寄せられました。



▲11月11日におこなわれた発表会の様子



▲志村直愛教授



▲第2回ワークショップ



▲発表されたデザインの一例

平成27年第3回大江町議会臨時会が、11月4日に開かれました。  
藤田地区住宅団地造成工事請負契約について、工事費用の増額に伴う契約の一部変更が提案され、原案通り承認されました。

# 議会

town council

## 第3回臨時会



## 11/8 雨にも負けず大健闘！

寒河江・西村山地区の5市町の選抜チームが競い合う第62回西村山地区駅伝競走大会が、11月8日におこなわれました。本町からは2チーム16名の選手たちが出場。中央公民館前の中継所では多くの町民の方が沿道から声援を送りました。

当日はあいにくの雨天となりましたが、選手たちはずぶ濡れになりながらも必死の走りでタスキをつなぎ、大沼翼さん（美郷）と古澤哲平さん（諏訪原）が区間賞を獲得する力走を見せました。総合順位では大江町Aチームが2位、Bチームは8位と健闘しました。



## 11/8 地元でとれた自慢の新そば

地元でつくられた新そばを味わえる「小新新そばまつり」が、11月8日に小新公民館で開催されました。小新地区では休耕田を活用してそばの栽培に取り組んでおり、毎年村おこしイベントとして新そばまつりを開催。今年で19回目を数えます。

今回も地元小新産の「でわかおり」石臼挽き十一そばが、250食限定で振る舞われました。当日は雨模様の天気にもかかわらず、町外や県外からもたくさんの方が訪れ、地元のそば打ち名人の手によるコシが強い手打ちそばをおいしそうに味わっていました。



## 11/10 ふるさとの川へ帰ってきてね

町の魚でもある「サクラマス」の幼魚の放流が、11月10日に貫見地内の月布川でおこなわれました。サクラマスの放流は、遡上数の増加と児童の環境学習に役立てることを目的に、平成5年度から継続的におこなわれています。この日は本郷東小学校の4学年の児童20名が参加。体長約15センチの幼魚を「大きくなって帰ってきてね～」と声をかけながら丁寧に川へ放しました。

サクラマスはエサを求めて日本海やオホーツク海などを回遊し、再来年の春には成長した姿でふるさとの川に戻ってくる予定です。



## 11/12 反射材で安全に登下校を

秋が深まり日没の時間が早まる中、11月12日に大江町交通安全母の会（林伸子会長・上北山）から左沢小学校と本郷東小学校の児童へ夜光反射材が贈られました。反射材はかわいらしいディズニーのキャラクターをあしらったもので、下校時間が遅くなる5年生と6年生の児童全員に配られました。

左沢小学校では交通安全母の会副会長の藤野広美さん（6区）が、「下校時間の夕方は暗くなるのが早くなります。反射材を身につけて、これからは安全に登下校をしてください」とあいさつし、児童代表に反射材を手渡しました。



## 11/15 山と海 味覚の祭典が大盛況

町の特産品と秋の味覚が勢ぞろいする「おおえの物産味覚まつり」が、11月15日に町民ふれあい公園などで催されました。公園内のブースには、町内の旬の農産物や商店自慢の味がずらりと並び、東地区公民館内でも雑貨や工芸品などが展示販売され、午前中から大勢のお客さんでにぎわいました。

また、本町と交流協定を結んでいる宮城県亶理町からも出店があり、多くのお客さんが列をつくって「はらこめし」をはじめとする名産品を買い求めていました。



## 11/15 老若男女が卓球で交流

大江町体育協会が主催する大江町民卓球大会が、11月15日に体育センターで開催されました。この大会は、職場対抗、親子、ラージボールの3つの大会が並行しておこなわれるもので、中学生や保護者、町内の団体や愛好者などが卓球の試合で競い合い、交流を深めるイベントとなっています。

大会では、あらゆる世代の卓球愛好者が日ごろの練習の成果を発揮。ダブルスでは親子や職場内のチームワークが存分に生かされ、白熱した試合が繰り広げられました。



## 11/10 町のPRコマーシャル 2年連続の受賞

山形テレビが企画する「第16回山形ふるさとCM大賞」の審査会が11月10日に山形テルサアプローズでおこなわれ、本町が制作したふるさとCMが演技賞を受賞しました。今年のCMは町が特産品化を目指して取り組んでいる「やまがた地鶏」をテーマにしたもので、昨年の映像賞に引き続き2年連続の受賞となります。

やまがた地鶏は町内の飲食店でメニューに取り入れられているほか、ジャーキーなどの加工食品の開発も進んでおり、今回の受賞でいっそうの普及が期待されます。

審査会の模様は11月30日の山形テレビの特別番組で放映され、本町のCMは今後1年間で90回にわたりテレビコマーシャルとして放送されます。



▲CMスタッフによる制作会議の様子



▲やまがた地鶏100%使用のカルパスとジャーキー。町内の観光施設で販売中です

新築中のお宅、大工さんの手から出てくる作業中の「音」が気持ち良い。新しい家、家族の夢がいつぱい詰まった音だ。金槌で釘を打つ音、「のみ」で穴を掘る音、鋸の音、かな。小学生のころ、大工さんの働いているそばで「音を」聞きながら、作業を見るのが楽しいと思っただが、今も大工さんの現場は大好きで、林産学・機械工学・構造力学・物理学……学びの学校そのものだ。

「金槌」とんかち」は「ドリル」に、「釘」は「ネジ釘」に……昔聞いた「音」は、機械化で大きく変わって「トントン、カンカン、ギョギョ」が、かなり消えた。「音」の変化は時代の変化で、時折昔の「音」が懐かしいと思う。山の中で昔の「音」を聞きますか、「昔の音の博物館」があったら楽しいと思う。「騒音・雑音」も含めてなら、なお一層興味深い。

「雪がシンシンと降る」、雪のシンシンという音を聞いたことはないが、雪は音もなく降ってくる、雪に「音」を重ねた先人に脱帽、凄いな、と思う。音のない世界では、味気なく、静かな無音の空間でも「シン」という音を聞いてきたのだと思いたい。雪がやってくるのは、もうすぐだ。大きな雪祭りも予定されている。「遊雪」で「融雪」を。「冬將軍」の子分になってたまるもんか。

大江町長 渡邊 兵吾

## 左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.28

御免町通りと内町・横町通り、原町通りは小漆川城下町として建設されたと伝わっており、近世の絵図でも通りの存在を確認することができます。通り沿いにはかつて商人や職人が居住し、最上川の舟運や谷口に位置する左沢の立地の恩恵を受けて経済的な豊かさを獲得し、文化を育みました。

各通り沿いの短冊地割や要所に置かれた社寺などは、近世の配置を受け継いでいます。短冊状の地割では、各通り沿いに店、その奥に住まい、蔵という順序で構成された土地利用が見られ、通りに沿って連続した街並が形づくられています。

御免町や7区の住民が担い手となった囃子屋台などは、舟運を背景として繁栄した文化を継承しています。商家の屋号を持つ家も多く、内町・横町は「中央通商店街」として商店が立ち並び、現在も「初市」や「ひな市」がおこなわれて多くの人々でにぎわっています。

### 御免町、内町・横町、原町通り周辺の街並



### ● 短歌 ●

孫の挙式花嫁姿優美なり祝宴盛大に門出を祝う

菅井 妙子

紅葉狩り日帰りコースの庄内へ生きがい教室の紅の花

松田 靄

春思い莖たち植えてひと休み顔に汗する出羽の小春日

佐竹磨砂湖

母の居る施設に行けば涙する子供に変わりし肩を抱きしむ

長岡かつ子

霜柱立ちし畔路ペダル踏み行けばまっかに草紅葉燃ゆ

菊地つねよ

凧の夜は寢床で郷土史を読みつつしか眠りにつかむ

山家 重之

鈴色雲深くして故郷は雪を背にして藪

佐竹 與鼓

赤赤きりんごにふれて陽を浴びて夫を杖に焔めぐる妻

齋藤 徳治

### ● 俳句 ●

雪光る霊峰月山出羽の富士

菅井 妙子

小春日に庭一面の花の鉢

松田 靄

落葉のブナの林はカッサカサ

今井 茂樹

病室の窓辺に見舞う赤とんぼ

鴨田富士夫

おでん酒友の愚痴など聞きながら

山家 重之

露天風呂友と輪になる初冬かな

阿部 一風

酒飲みのおでんは冷えてしまひけり

金子脩一郎

七五三振り袖を着て靴はいて

清野今日子

車椅子押しして押されて文化の日

熊谷 勉

日当たりも何れなくなる冬座敷

舟山 三男

## 吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※1月号の吟遊浪漫コーナーはお休みさせていただきます。  
2月号に掲載ご希望の方は、1月20日(必着)まで役場総務課  
に作品をお寄せください。





# Youthful トーク

保育施設で栄養士として働きたいという希望から、短期大学で栄養士の勉強をして資格を取得した森さん。今年4月に各種施設の調理業務を受託している会社に就職し、山形市内にある介護施設での調理を担当しています。

「高齢者の方に提供する食事を作っているの、気をつけること、覚えることがたくさんあって大変です。時々『いつもありがとう』と声をかけていただくと、とてもうれしいですね」

中学時代はバレー部、高校時代はバドミントン部に所属しており、スポーツが大好きだという森さんですが、今は体を動かす機会がなかなかないようです。

会社ではさまざまな施設での調理を請け負っているの、森さんが希望する保育施設で働く機会もあるとのこと。

「まずは今の仕事をしっかりできるようになりたいです」と、将来に向けての意気込みを話してくれました。

森 めぐみさん (20歳・蛍水)

## 目標に向かって努力の日々

# 地域おこし協力隊通信

No.18



大江町で3回目の冬を迎える高橋です。コタツに入りながら、雪が降りそうな空を眺めてこの秋を振り返ると、私にとってはいろいろなことが叶った楽しい秋だったなあ、と思います。

まず1つ目は、大江中学校1年生の総合学習で塩野平の茅葺職人、渡辺庄蔵さんによる茅葺きの実演授業をおこなうことが出来たことです。町内でも数軒しか残らない茅葺屋根を守る職人さんと中学生をつなげて、町の歴史に直接触れて学べる機会をつくり出せました。

2つ目は、ものづくりワークショップや展示など“大江町の楽しい”をギュッと詰め込んだ「大江町の博覧会SHAKE LAB (シェイクラボ) 2015」を初開催できたことです。これは平均年齢29歳、大江町出身者の有志5人で企画したもので、自分たちが楽しいと感じる場所を実験的につくり出そうとしたイベントです。

この2つは、全く違う切り口から町の魅力を引き出して町内外に発信したいという想いで企画しました。来年も、まだまだたくさん眠っている“大江町のワクワク”を掘り起こせたらと思いますっ！

地域おこし協力隊 高橋里奈



↑大江中学校で茅葺屋根の実演をする渡辺庄蔵さん



↑「大江町の博覧会 SHAKE LAB 2015」小倉交流館の様子

# お知らせ

## Information

### 冬期間の漏水にご注意ください

冬期間は、積雪のため漏水を発見しづらい環境、低温による凍結で水道管や蛇口の破損などにより漏水しやすい環境となります。また、冬期未検針地域および積雪や雪囲いなどのため、水道メーターを確認することができないお宅においては期間中の検針をおこなわず、推定検針となります（期間終了後の検針で推定使用量と実際の使用量の差を精算します）ので、特に注意が必要です。トラブル防止のため、雪が積もる前に漏水などの確認および凍結予防の点検をお願いします。

#### ◆確認の手順

1. 蛇口をすべて閉めます。
  2. 水道メーターのパイロット（銀の輪状のもの）が動いているか確認します。
- ※上記の状態は水が流れない状態なので、通常パイロットは動きません。動いていれば漏水です。

#### ◆漏水とわかったら

#### ◆長期不在時には水道の休止（閉栓）手続きを

仕事や家族の都合で自宅（借家・

## 除雪に関するご協力のお願い



- ①早朝除雪作業の効率を高めるため、道路上には駐車しないでください。
- ②除排雪時における堆雪場は、各区であらかじめ確保をお願いします。
- ③屋根から降ろした雪や玄関先を掃いた雪は、道路（消雪道路を含む）に出さないでください。
- ④田畑に砂利が入らないよう注意して除雪作業をおこないますが、融雪後の砂利拾いなどにつきましては、関係区でご対応ください。

- ⑤万一除雪作業による工作物などの破損があった場合は、区長を通じて建設水道課管理係に連絡してください。なお、除雪の際に障害となる工作物は事前に撤去するか、目印などを設置するようご協力をお願いします。
- ⑥降雪量の多い日は、要望に対応できない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- ⑦除雪時は、天候の状態や機械の騒音などで周囲の状況がつかみにくくなり、危険ですので除雪車には近づかないようお願いします。
- ⑧急勾配などの危険な箇所には融雪剤を設置しますので、散布についてご協力をお願いします。

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎62-2116まで

町指定給水装置工事店に連絡して修理するようにしてください（修理代金は個人負担です）。漏水した水道料金は原則としてお客様の負担になります。状況によっては申請により軽減できる場合があります。

#### ◆長期不在時には水道の休止（閉栓）

#### 手続きを

アパート）を長期間不在にする場合や長期間水道を使用しない場合は、漏水などの予期せぬトラブルを防ぐため休止手続きをお願いします。休止手続きをおこなうことにより、毎月の料金はメーター使用料のみになります。

※お問い合わせは、建設水道課庶務係 ☎(62) 2117まで

## 大江町長選挙立候補予定者説明会

平成28年2月21日執行予定の大江町長選挙立候補予定者説明会および出納責任者事務説明会を、次のとおり開催します。

#### ◆日時／平成28年1月15日（金）

立候補予定者説明会 13時30分～15時

出納責任者事務説明会 15時～16時

#### ◆場所／役場大会議室

#### ◆その他／①当日は筆記用具を持参してください。

②代理出席も可能です。

※お問い合わせは、大江町選挙管理委員会 ☎62-2112まで

### 西村山地域福祉有償運送運営協議会を開催します

西村山地域福祉有償運送運営協議会は、西村山地域の特定非営利活動法人などによる有償のボランティア輸送について、その必要性や安全性の確保などについて協議するため、平成21年度に関係機関、事業者団体

## 安全な雪下ろし作業について

12月に入り、本格的な降雪シーズンとなります。平成28年1月22日(金)から2月7日(日)は、「雪害事故防止週間」です。

雪による事故被害の原因でもっとも多いのは、自宅など建物の屋根の雪下ろし中の事故で、全体の約7割を占めており、特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。

次のポイントに注意して、雪下ろし作業は安全におこないましょう。

### ～安全な雪下ろし作業『7つのポイント』～

- ①作業は2人以上で！  
(やむを得ず1人の時は携帯電話を携帯して)
- ②服装は濡れないもの汗をかきすぎないもの  
(防水・防汗)
- ③はしごはしっかり固定！  
(足元も先端も。角度は75度に)
- ④高所作業(2m以上)では命綱は必須！
- ⑤道具はスキルに合わせて。メンテもしっかり！
- ⑥気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦体調管理は万全に  
(準備運動で体を温める。早めの水分補給)

また、除雪機での作業も十分注意しましょう!!

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係 ☎62-2118まで

### 安全な服装



### 安全な雪下ろし作業例



および関係市町福祉担当課により設立されたものです。今年度の協議会を次のとおり開催します。

◆日時/12月16日(水)14時

◆場所/河北町役場2階 第1会議室

◆議題/登録団体における状況報告について

◆傍聴の定員/5人(定員を超えた場合は先着順)13時40分から受付開始

※お問い合わせは、西村山地域福祉

有償運送運営協議会事務局(河北町健康福祉課社会福祉係内) ☎(73) 2117まで

### 町内事業者の皆さんへ ホームページ作成支援セミナー開催

◆日時/12月15日(火)19時から(1時間30分程度)

◆場所/交流ステーション 多目的ホール

◆講師/遠藤裕司氏(株式会社通信技研代表取締役、山形県よろず支援拠点サブコーディネーター)

◆内容/目を引くホームページとは、アクセス数を伸ばす方法など

◆参加料/無料

※このセミナーは「大江町商工業者ホームページ作成支援事業」の一環としておこなうものです。

※お申込み・お問い合わせは、政策推進課起業推進係 ☎(62) 2139まで

### 物産販売イベントへの出店を新たに 希望する事業者を募集します!

町内外で開催される各種物産販売イベントへの出店を新たに希望する事業者を募集します。登録申請書を政策推進課に準備しております。イベント情報を随時ご案内いたします

ので、ぜひご登録ください。

※お申し込み・お問い合わせは、政策推進課起業推進係 ☎(62) 2139まで

## 写



真を撮るためには、何かにピントを合わせる必要があります。当たり前のことのようにですが、これが基本にしようとしても重要なことなかもしれません。取材に行つて「いい写真が撮れた!」と思つても、帰つてからパソコンの画面で確認してみるとぼやけていた...なんてことはしょっちゅうです。今年の「山形ふるさとCM大賞」に応募された作品を見ると、どの市町村も一番苦心しているのがこの「ピント合わせ」ではないかという印象を受けました。映像のピントではなく、ふるさとの数ある魅力の中から何を主題として取り上げ、見る人にそれをどのようにはっきりと伝えるか、ということがです。私たちは今回「やまがた地鶏」に焦点を当ててCMを制作しましたが、町にはまだまだたくさんのお店のテーマがあります。CMも広報も、しっかりとピントを合わせて町の魅力を少しでも多く掘り起こしていきたいと思います。

(伊藤智治)

# 思い出の

まいぞうひん

# My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



20年くらい前、山形のジャズ喫茶のマスターとニューヨークのジャズクラブ巡りの旅行に行きました。その時立ち寄った楽器店でこのテナーサクソを試奏させてもらい、その音色に衝撃を受けました。「これはどうしても手に入れなければならない」と、友人にお金を借りて次の日購入。自分の年齢より古い、1953年にアメリカで製造されたサクソ、枯れた落ち着いた音がします。

買ったときの金額よりも、楽器の調整にかかったお金のほうが高くてしまいました。

(富沢 五十嵐弘)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

10月21日～11月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
富沢	渡辺 侑 <sup>あつむ</sup>	男	信・亜朱華
小漆川	小川 陽菜 <sup>ひな</sup>	女	義昭・恵
12区	渡辺 響斗 <sup>ひびと</sup>	男	信行・悟子
蛸水	大沼 優翔 <sup>ゆうと</sup>	男	利勝・美智子

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(小漆川)	庄司 新治
(寒河江市)	五十嵐 智子

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
12区	鈴木ノブエ	(87)
下北山	鈴木彌市郎	(91)
12区	佐竹まつえ	(76)
藤田	阿部まさゑ	(91)
4区	佐直常太郎	(91)
小新	結城 正則	(83)
若原	志田 重宏	(60)
小漆川	東海林きよ	(88)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,723人(-4)
男	4,316人(+4)
女	4,407人(-8)
世帯数	2,920戸(+2)

平成27年12月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。